

食品トレーサビリティ論

東京海洋大学
食品流通安全管理専攻
小川美香子

シラバスより

担当教員	日佐 和夫、濱田 奈保子、小川 美香子
目標と内容及び計画	近年急速に拡大した消費者の「食の安全・安心」ニーズと、導入支援政策によって、トレーサビリティシステムを導入する企業／組織が増えている。しかし、一過性の取り組みで終わった例も多く、トレーサビリティが社会システムとして普及・定着するかどうかは判らない。トレーサビリティを理解・分析する多様な視点を培うために、受講生が関連するテーマについて主体的に発表し、討論重視の授業とする。
成績評価の方法	成績評価は、出席、授業貢献、発表を総合して行う。授業で使用する教材、および文献などは適宜指示する。

目的(1/3日目)

- 食品トレーサビリティシステムの導入のポイントを学ぶ。
 - 配布「食品トレーサビリティシステム導入の手引き」
 - 平成19年3月改訂版
 - (社)食品需給研究センター
 - 平成18年度農林水産省 消費・安全局補助 コピキタス食の安全・安心システム開発事業によって作成された食品トレーサビリティガイドライン。(社)食品需給研究センターは当時の事務局。
- グループワーク
 - 鶏卵トレーサビリティシステムの設計
 - (課題、目的、手段の整理)

スケジュール

時間	担当	内容
18:15~	小川	食品トレーサビリティについて ◇資料「トレーサビリティシステム導入の手引き」 鶏卵の流通、養鶏業者が抱える課題について グループワークのための説明
19:00~	—	グループワーク 課題、目的、手段の整理 (適宜休憩)
20:00~	—	グループ発表 (@7-8分)
20:20~	小川	北総養鶏組合GPセンターを中心とした鶏卵トレーサビリティシステムの実態 ◇資料「北総養鶏組合GPセンターを中心とした鶏卵トレーサビリティシステム基本構想」 ・ 課題、目的、手段の整理(資料p.12) ・ 基本構想の説明 ・ 実際のトレーサビリティシステム ・ 導入効果
	—	QA、ディスカッション
~21:00	小川	まとめ

トレーサビリティの定義

生産、加工および流通の特定の一つ又は複数の段階で、食品の移動を把握できること。

「食品トレーサビリティシステム導入の手引き」
(平成19年3月改訂版)より

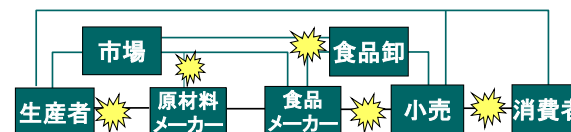
- Codex委員会総会(2004年6~7月)で合意された定義の訳
- 平成15年3月発行時の定義
 - 「生産、処理・加工、流通・販売のフードチェーンの各段階で、食品とその情報を追跡し遡及できること」

“つながる”こと

手引き p.10

つながっているか？

- “途切れる”
 - 複数の組織を経て拡がるモノと情報を集める困難さ
- 組織の壁
 - 生産者： 直販や契約栽培先は判るが、市場経由は…
 - 食品メーカー： 出荷先までは判るが、その先は…
 - 小売： 宅配は判るが、レジの客は…



つなげるために：品質管理と情報公開

① 社内の品質管理／情報管理

- 品質管理強化
- 意識改革、コンプライアンス

安全安心の担保
社会の要請

② 調達先との連携

- 原材料管理
- 製品情報管理



③ 顧客との連携、情報開示

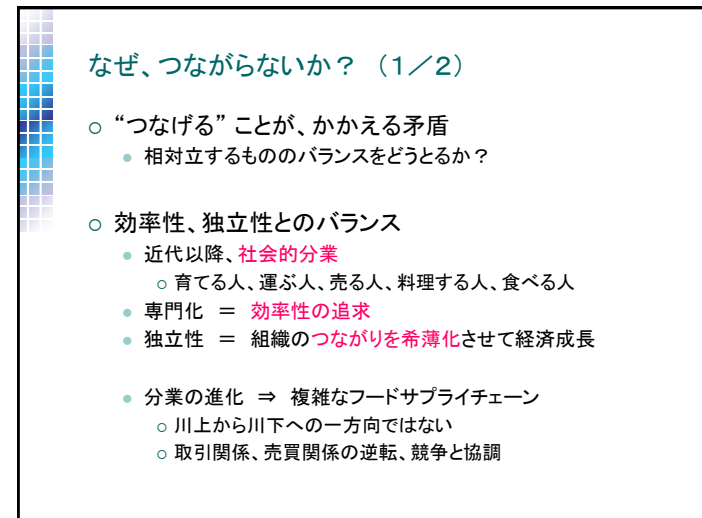
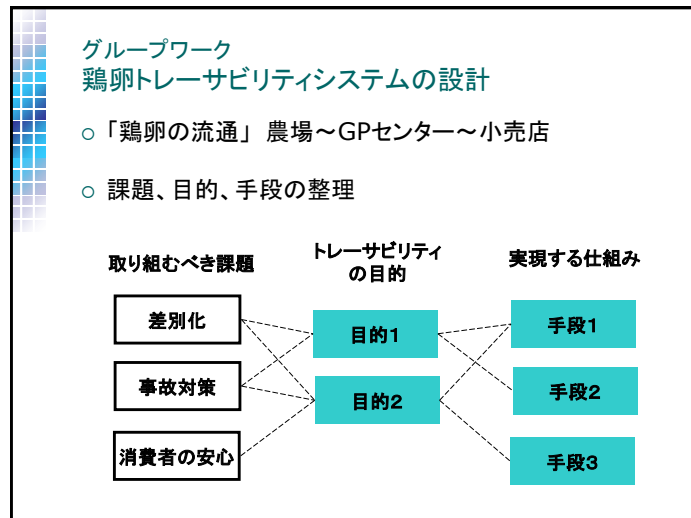
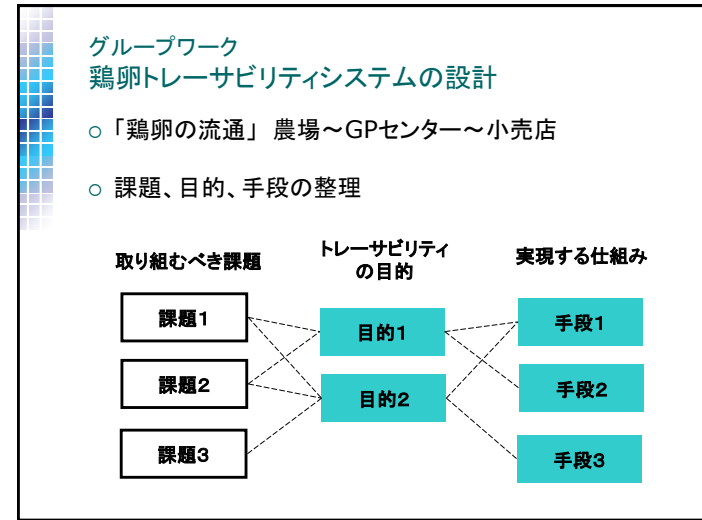
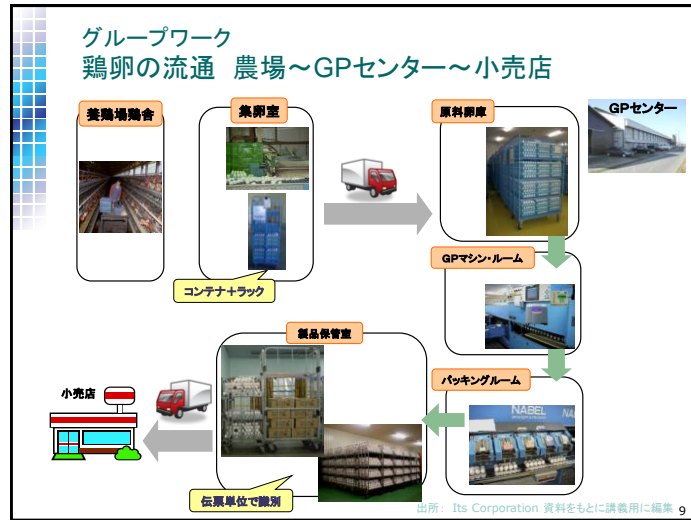
- 製品・配送管理
- 製品情報開示



④ 消費者への情報公開

グループワーク 養鶏農家の悩み

- “寄せ集め卵”は嫌われる。
 - いい卵と悪い卵の玉石混交だと格外卵と評価され、すべて工業卵になる。
- 市場が求める付加価値をつけなければ、という危機感
- 複数農家が集まって出資し、GPセンターを建て、農場が見える仕組みを作ろう



なぜ、つながらないか？ (2/2)

- 競争とのバランス
 - 少子高齢化社会 “胃袋産業”
 - 規制緩和等による参入障壁の低下 ⇒ 競争激化
 - 情報は隠したほうが合理的
 - 競争原理：情報は経営資源
 - 食の分野は模倣が容易
 - 生産プロセス、栽培・育成方法、配合(レシピ)情報は企業秘密
 - 差別化：“秘伝のタレ”の価値
- 情報開示のコストと責任
 - 開示した情報が間違っていた時のリスク
- 消費者への情報開示、企業間の情報連携は慎重に・・・

つなげるために：社会の要請に応えるために

- 取引先、競合他社との連携
 - 協働と競争
 - インターフェースを揃える
 - 標準化
- 消費者との信頼関係
- 情報を敢えて開示するアプローチ
 - 誰に何をどこまで見せるか？
 - 橋本毅彦、『標準の哲学』、講談社、2002年。
 - 藤本隆宏ら、『ビジネス・アーキテクチャー』、有斐閣、2001年。
 - 浅羽茂、『競争と協力の戦略』、有斐閣、1995年
 - 伊藤秀史、『日本の企業システム』、東京大学出版会、1996年。
 - 水野学・小川進、「同業他社へのノウハウ公開の効果」、組織科学、Vol.38, No.1, pp66-78, 2004年。
 - 國領二郎、『オープン・アーキテクチャ戦略』、ダイヤモンド社、1999年。

